

さいたま市防災カルテ

大宮南中学校区

①学区の概況と課題

◆学区の概要

【位置】大宮区の南東部に位置し、中央区・浦和区と隣接している。
 【土地利用】学区内には住宅地が広がっており、北西部に消防署がある。
 【交通】学区の中央部に産業道路、西部にはJR東北本線と埼京線、南部には高速道路が走っている。

◆学区の位置



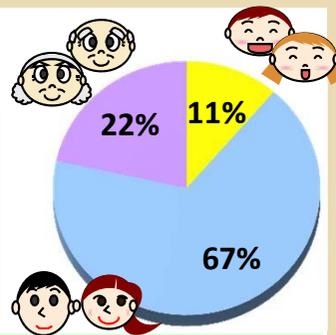
◆学区内被害想定結果

地震	さいたま市直下地震	関東平野北西縁断層帯地震	東京湾北部地震			
最大震度	6強 (6.1)	6弱 (5.9)	6弱 (5.5)			
最小震度	6弱 (5.9)	6弱 (5.7)	5強 (5.2)			
死者	11人 (0.1%)	4人 (0.0%)	0人 (0.0%)			
負傷者	89人 (0.5%)	56人 (0.3%)	5人 (0.0%)			
避難者	2,156人 (12.8%)	732人 (4.3%)	31人 (0.2%)			
全壊建物棟数	649棟 (15.0%)	188棟 (4.3%)	1棟 (0.0%)			
うち焼失棟数	441棟 (10.2%)	104棟 (2.4%)	0棟 (0.0%)			
半壊建物棟数	683棟 (15.7%)	496棟 (11.4%)	71棟 (1.6%)			
水害	荒川	利根川	江戸川	芝川等	綾瀬川等	鴨川等
床上浸水建物棟数	0棟	0棟	0棟	49棟	0棟	0棟
床下浸水建物棟数	0棟	0棟	0棟	2棟	0棟	0棟

※震度のカッコ内は計測震度を、それ以外のカッコ内は学区内の比率を示す。

◆人口概況 (平成22年国勢調査)

	大宮南中学校区	全市平均
総人口	16,864人	
人口等		
0-14歳	1,906人 (11%)	(14%)
15-64歳	11,325人 (67%)	(67%)
65歳以上	3,634人 (22%)	(19%)
人口密度	7,992人/km ²	5,766人/km ²



【地震】さいたま市直下地震では最大震度6強となっており、**地区の約30%が全壊・半壊の被害**を受け、**地区の約10%にあたる建物は焼失**する恐れがある。

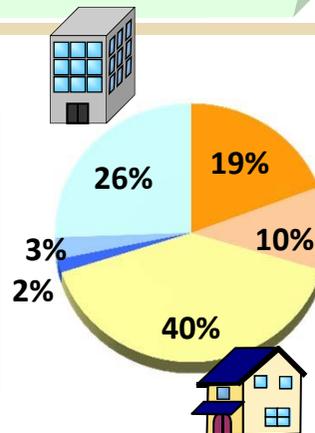
【水害】他の地域と比べ、**相対的には浸水被害の危険性は低い**。

◆防災関連施設情報 (平成26年2月時点)

種別	名称
避難場所	大宮南中学校、大宮南小学校、県立大宮高等学校、大宮南公民館
一時・広域避難場所	山丸公園
市・区役所等窓口	
消防署・出張所	氷川参道出張所
警察署・交番	
救急病院	
応急給水場所	大宮南小学校、新都心配水場

◆建物概況 (平成23年度さいたま市都市計画基礎調査)

	大宮南中学校区	全市平均
総建物棟数	4,340棟	
建物		
木造(昭和46年以前)	834棟 (19%)	(17%)
木造(昭和47-55年)	454棟 (10%)	(12%)
木造(昭和56年以後)	1,752棟 (40%)	(45%)
非木造(昭和46年以前)	72棟 (2%)	(1%)
非木造(昭和47-55年)	118棟 (3%)	(3%)
非木造(昭和56年以後)	1,110棟 (26%)	(21%)



◆被害想定結果からわかる防災上の主なポイント

【耐震化】多くの建物被害が想定されているため、**耐震化率の向上が必要**。
 【その他】地区内に非木造建築物が多いため、**エレベーターの閉じ込め防止装置(機能)の設置等の対策が必要**。

●人口割合は全市平均とほぼ同等である。

●全市平均と比較すると、**非木造の建物の割合が大きい**。

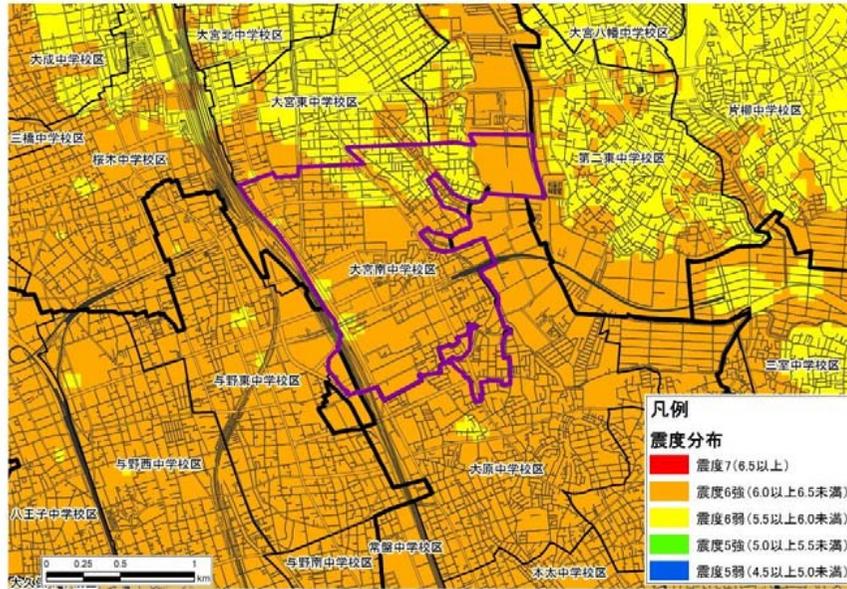
本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話合ってみましょう。

②さいたま市直下地震の想定 **さいたま市防災カルテ**

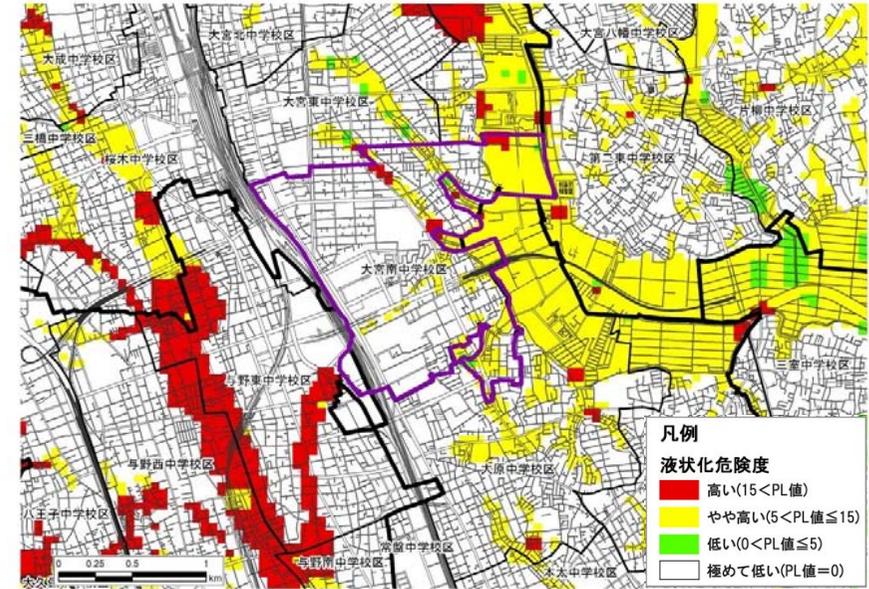
大宮南中学校区

大宮
OMIYA

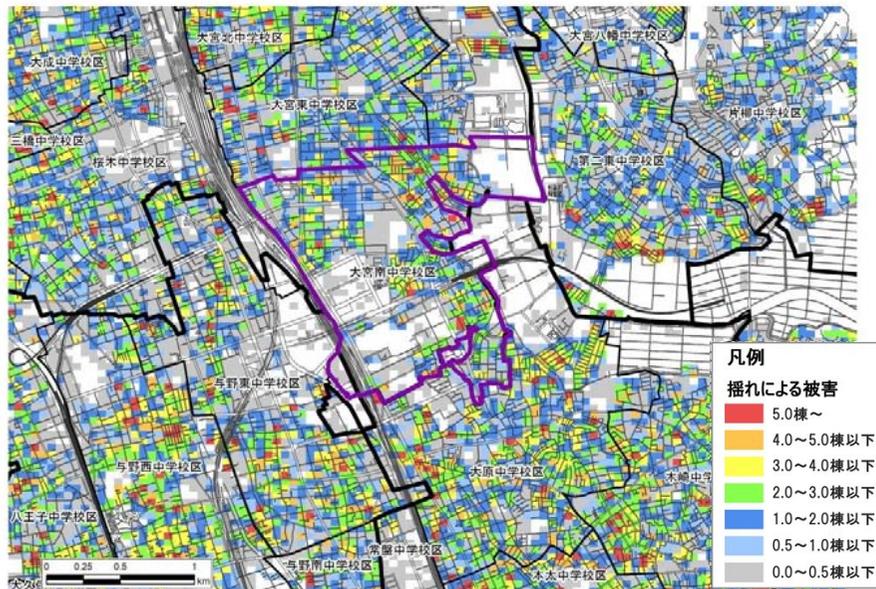
震度分布図



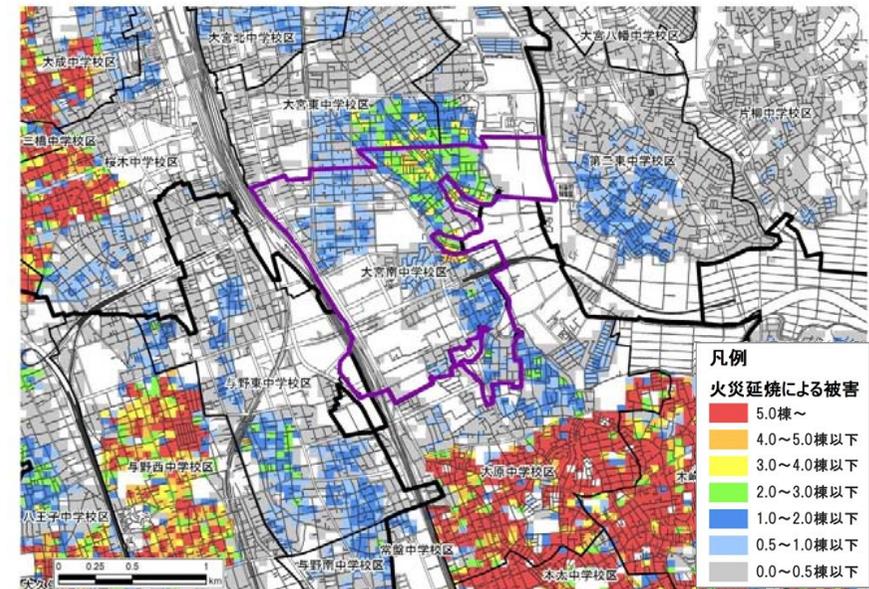
液状化危険度分布図



建物被害分布図（揺れによる被害）



建物被害分布図（火災延焼による被害）

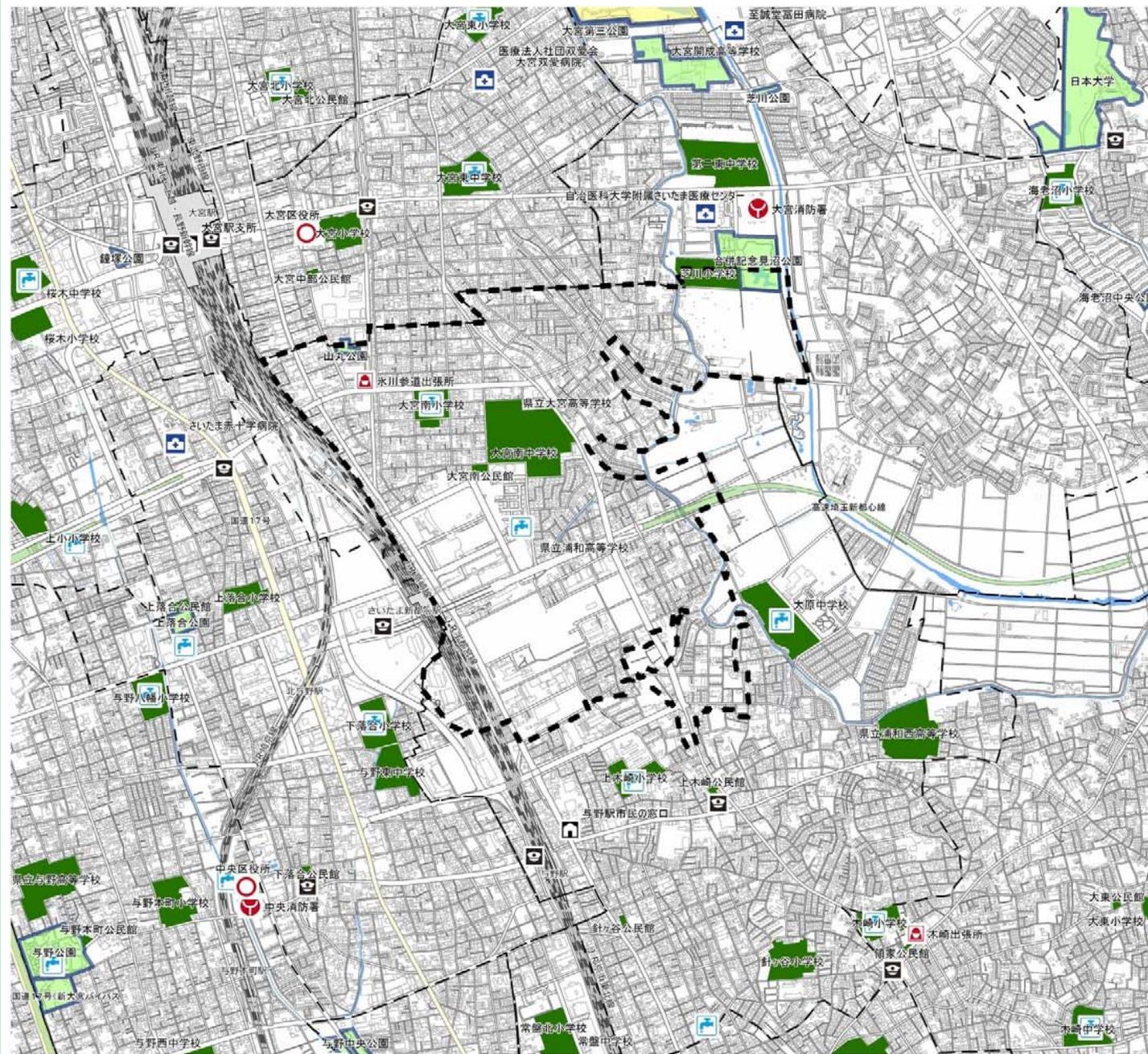


本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話し合ってみましょう。

③防災マップ

さいたま市防災カルテ

大宮南中学校区



凡例

	避難場所		消防署
	一時避難場所		消防署(出張所)
	広域避難場所		警察署
	市役所		交番・駐在所
	区役所		救急病院
	支所・市民の窓口		応急給水場所

(平成26年2月時点の情報で作成)

